

2020年 3月23日

## スズキ、ミャンマーに四輪車の新工場を建設

スズキ株式会社のミャンマーにおける四輪生産販売子会社スズキティラワモーター社は、ミャンマー市場の拡大に伴い、四輪車の溶接、塗装、車体組立を行う新工場を建設する。

新工場は、年間4万台の生産能力を持ち、2021年9月に稼働を開始する予定で、ヤンゴン市南東のティラワ経済特区の工業団地内に建設する。

ミャンマーにおけるスズキの歴史は古く、1998年に設立した合弁会社で翌1999年より二・四輪車の現地生産を始めたことを皮切りに、現在では2つの工場でキャリイ、シアズ、エルティガ、スイフトの4機種を生産を行っている。2019年の生産台数は13,300台（前年比125%）、販売台数は13,206台（前年比128%）で新車販売のシェアは60.3%※となった。

スズキは新工場を建設することにより、引き続き拡大が見込まれるミャンマー自動車市場の需要に応えていく。

※ミャンマー自動車協会(Automotive Associate of Myanmar)データに基づくスズキ調べ。

### ●スズキティラワモーター社 概要

社名 : Suzuki Thilawa Motor Co., Ltd.

本社所在地 : ヤンゴン市 ティラワ工業団地内

工場敷地面積 : 約200千m<sup>2</sup>

建屋面積(現工場/新工場) : 約4千m<sup>2</sup>/約42千m<sup>2</sup>

新工場投資額 : 120億円

代表者 : 浅野 圭一

資本金 : 3,500万米ドル(スズキ出資比率100%)

従業員数 : 224名(2020年2月時点)